

理事長ごあいさつ 鈴木康弘 社会医療法人恵佑会 理事長

恵佑会札幌病院 新病院概要(予定)

■特集 **がん専門病院の形成外科** 皆川知広
恵佑会札幌病院 形成外科部長

■ピープル 小林勇太 恵佑会札幌病院 医学物理士

■Q&A 肝臓の病気



理事長ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

恵佑会も新しい年を迎えることができましたことに、職員の皆さん、その家族、日頃お世話になっております医療機関、関連業者の皆様にご心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症で医療界をはじめ世界中が大きな打撃を受けています。恵佑会は、何とか影響を最小限に留めるべく最大限の努力をして参りました。ご尽力、ご協力いただきました皆様にはこの場をお借りしてあらためて御礼を申し上げます。一方で、新型コロナウイルス感染症で多大な影響を受けた方々にはご心痛をお察し致します。

新型コロナウイルス感染症は人類史上まれにみるpandemicとして歴史に残り、また、この経験は今後の世界の在り方を大きく変えると言われてしています。新型コ

ロナウイルス感染症により世界中の国が巨大債務を負う中、さらに格差問題・人種問題、サプライチェーンの在り方、不均衡貿易、協調か覇権主義かなど様々な問題で我々を取り巻く環境はますます予断を許さない状況が続くと思われます。これまで通りのやり方では通用しない世界へ転換する前触れと考えなければなりません。医療界にも変化が求められ、今後の病院・医療者の在り方の再検討が早急に必要かと思われます。

今年は当院にとって節目の年にあたります。一つは創立40周年、もう一つは札幌病院の新病院移転事業です。40年前に細川会長が恵佑会を立ち上げました。当時の札幌では多くの医療機関が開院しました。第1次医療法改正(1985年成立)で医療圏内の必要病床数の規制が行われる前に、いわゆる駆け込み増床、病院設立がなされたのです。時がたって、その後多くの病院が変容する中で、当院は設立当初より「がんを中心にした

恵佑会札幌病院 新築移転 2021年8月開院



鈴木康弘 社会医療法人恵佑会 理事長



医療」を継続し、発展して参りました。医療界ではまれにみる偉業ではないかと思っています。そこには並々ならぬ苦勞があってこそ「現在の恵佑会があるのだ」と肝に銘じております。

私たちはこの歴史ある恵佑会という組織を基盤にし、がん医療を提供していることを忘れてはいけません。次の10年、20年後を見据えて、何をすべきなのか、何が必要になるのかをいつも考え、この重要な転換期を乗り越えていきたいと考えています。今後、がんの早期発見、検診、診断の在り方、ロボット手術を基盤にしてさらに質の高い低侵襲手術へ、先進的ながん治療の構築、終末期治療の充実など次々と新しい技術革新が出てきます。わくわくする時代がやってくるのです。私たちは率先してこれらを取り入れる能力を養っておかねばなりません、それを支える財務基盤を持っている必要があります。

次の時代を切り開き、発展させるためには、職員の皆

さんのご協力があればこそ実現するものと信じております。それには先を見据えながら、まずは目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んでいきましょう。新病院ではこれまでにない働きやすい環境を目指しています。中でも職員休憩室などは眺望もよくリフレッシュするには最適な環境になるだろうと思います。新病院を上手に運用することで、より良い病院へ育てていけると信じています。

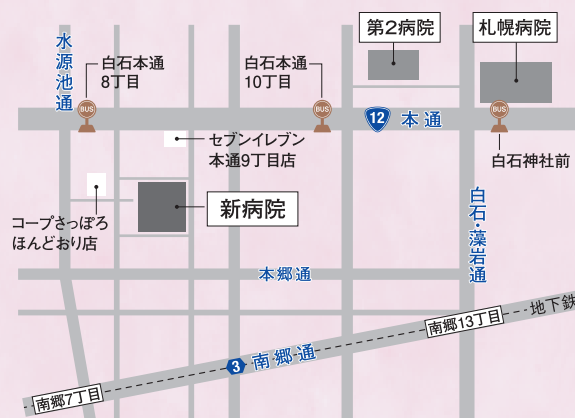
どうか職員の皆さん、今年も一緒に頑張りましょう。よろしく申し上げます。

院外の皆様には、今後とも私たちは「がんを中心としたより良い医療」を目指し、地域住民のために精一杯努力して参る所存です。今後ともご指導ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

新病院概要(予定)

- 完成予定地 札幌市白石区本通9丁目1番1号
- 完成予定日 2021年8月
- 敷地面積 17,523.49㎡(5,300.85坪)
- 建築面積 約7,300㎡(約2,212坪)
- 延床面積 約28,000㎡(約8,485坪)
- 規模 鉄骨造(耐火建築物)地上7階



がん専門病院の形成外科

皆川知広

恵佑会札幌病院 形成外科部長

恵佑会札幌病院では形成外科の診療も行っていきます。一般の方々にはがんと形成外科の治療はなかなか結びつかないのではないのでしょうか。がん専門病院における形成外科の役割を皆川知広形成外科部長が解説します。

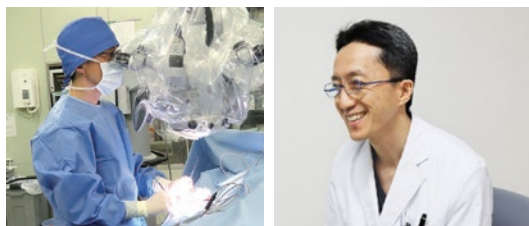


形成外科の一般的な診療では、体の表面の異常、例えば皮膚のできもの（脂肪腫や粉瘤など）を切除したり、ケガ（外傷ややけどなど）による障害を手術によって治すことが多いのですが、当院はがんの専門病院であるため、**がん治療に伴う生活の質（QOL=クオリティ・オブ・ライフ）の低下を改善**することを目的とした**形成・再建手術**に力点を置いています。当院の形成外科で行っている代表的な4種類の治療を簡単にご説明します。

子宮・卵巣がん、乳がんの手術後の腕脚のむくみを改善する手術

子宮がんや卵巣がんなどの手術でリンパ節を取り除いた場合（リンパ節郭清（かくせい）術）、脚から骨盤を経由するリンパ液の流れが悪くなり、脚がむくむことがあります。北海道出身の女優さんに起こり、以前話題になりました。また、乳がんの手術で腋の下のリンパ節を取り除くと、腕からのリンパ液がせき止められ、腕にむくみが生じます。腕や脚の関節が動かしにくい、痛みや疲労感といった症状も現れ、高熱（ほうかしき炎）で救急搬送されることもあります。

当院の治療では、むくみのある腕や脚のリンパ管と、その近くの静脈をつなげてリンパ液の逃げ道をつくる手術を行います（リンパ管静脈吻合（ふんごう）術）。この手術は0.5mm前後の太さの脈管を扱うため、手術用顕微鏡を用います。顕微鏡下の手術はマイクロサージャリーといわれます。当院ではより微細なスーパーマイクロサージャリーを導入し、北海道内では最も手術数が多く、実績をあげています。



みながわ ともひろ

1971年、札幌市生まれ。97年、北海道大学医学部卒業、同大学形成外科入局。市立札幌病院、旭川厚生病院などを経て、2019年より恵佑会札幌病院形成外科に勤務。日本形成外科学会専門医、同学会再建・マイクロサージャリー分野指導医。

乳がんで切除した 乳房の再建術

乳がんで切除した乳房の再建には、シリコンなどの人工物を使う人工物再建と、全身麻酔のもと自分の体の組織を使う自家組織再建の2種類があります。

自家組織再建では、移植する組織の第一選択肢は下腹部です。これまでの一般的な手術は、脂肪と一緒に筋肉（腹直筋）も移植してしまうため、腹圧が弱まりお腹がふくらんでしまう弊害もありました。当院ではこれを解消するため腹直筋を下腹部に温存する手術を実施しています。マイクロサージャリーによる高度な技術が必要で、限られた病院でしか行っていません。

小腸で食道を代用する 食道がんの手術

食道を切除する場合、胃を持ち上げて食道の代わりにしますが、胃を切除した方など胃を使えない患者さんには小腸（または大腸）で代用します。手術

では小腸の血管と胸の血管をつなぐこと（遊離消化管移植）が必要で、マイクロサージャリーを応用した、難易度の高い手術になります。

この手術に慣れていない医療機関ですと、手術の適用からはずされ、放射線治療などの別の治療法だけを提示される可能性があります。当院は食道がんの手術件数が全国で最も多い病院ですが、これまで培ってきたスキルとチーム力のもと、この手術により患者さんのがんの根治、物を食べる機能の維持を目指しています。

頭頸部がんの手術で 欠損した部位の再建

一昨年、女性歌手が舌がんになり、移植手術を受けたことが報道され、ご記憶の方も多いと思います。頭頸部がんは鼻や口、のど、あごなどにできるがんです。舌がんなどができて、口の中の組織を切除する場合、話す、食べる、呼吸などの機能におよぶ障害が最小限となるように、ご自身の体の組織をマイクロサージャリーで移植（遊離皮弁移植）します。

恵佑会ならではの取り組み

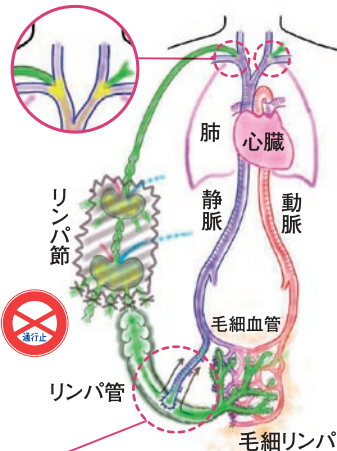
四肢リンパ浮腫（むくみ）に対する リンパ管静脈吻合（ふんごう）術

静脈角

- ◆生理的なリンパ管と静脈の合流部。
- ◆リンパ液は血液と混合しリサイクルされる。

リンパ浮腫

- ◆リンパ輸送機能の低下による。
- ◆リンパ管内のリンパ液が遅々として流れない「交通渋滞」。
- ◆結果「間質液」が回収されず組織に蓄積。～「むくみ」を発症。



リンパ管静脈吻合（ふんごう）術

- ◆むくんだ腕や脚の中で、リンパ管に穴をあけ静脈と縫い合わせる「バイパス手術」。
- ◆流れがよどみ、静脈角（首のつけ根）までたどり着けないリンパ液を腕や脚の静脈に迂回させる「ショートカット」。

当院の形成外科ではマイクロサージャリー、スーパーマイクロサージャリーを積極的に用いて、四肢リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合（ふんごう）術など精密な手術を行っています。

乳房再建では、全国的に第一人者である蘇春堂形成外科（札幌市中央区）の矢島和宜副院長と連携し、腹直筋を温存する、難易度の高い手術を多用し、成果を上げています。

食道がんの遊離消化管移植に対しては食道がん治療のトップランナーとして蓄積してきたノウハウや経験値はもとより、マイクロサージャリーによる手術の安定度、外科と形成外科の連携による高いチーム力で対応しています。

頭頸部がんの手術にあたっては、がんの切除は頭頸部外科や歯科口腔外科が担当し、再建は形成外科が行い、充実したチーム医療を展開しています。

がん治療によって生じたQOL（生活の質）の低下をできるだけ緩和することが、がん専門病院における形成外科の使命と考えています。

小林 勇太

恵佑会札幌病院 医学物理士

知識や技術を得る機会を増やし 臨床現場にフィードバックしたい

がんに対する放射線治療計画を作成し装置の品質管理を行う医学物理士。新しい情報や知識・技術を駆使してがん治療に貢献しています。

医学物理士を志したきっかけは？

小林 大学院で画像診断装置のMRIに関する研究をしていましたが、当時から放射線治療にも興味をもっていました。修士2年生の時にメーカー就職、大学教員を目指した進学など、人生の選択に悩んでいる中、恵佑会から放射線治療科の求人が出たため、就職しました。

最初から医学物理士になろうと決めていたわけではなく、上司の明神美弥子先生に勧めていただいた医学物理士試験に合格したこと、前任の医学物理士が大学に移られたことなどが重なり、この職種を選択しました。現在も医学物理士の仕事がとても充実しており、当時の選択が正解だったと実感しています。

仕事の内容を教えてください。

小林 がんに対する放射線治療にはいろいろな種類がありますが、主に私が携わっているのはIMRT(強度変調放射線治療)という先進的な治療方法の計画業務です。計画は専用のコンピュータを使って作成します。がんというターゲットにいかにかくさんの放射線を照射し、その周囲の正常な組織に照射しないか、この目標を達成するためには個々の患者さんに合わせたプランが必要になります。IMRT計画は数学的なパラメータ

を駆使する必要があること、計画に時間がかかるなどの理由から当院では医学物理士が担当しています。

また、放射線治療装置の品質保証・管理(QA/QC)も重



こばやし ゆうた

2012年3月、北海道大学大学院 保健科学研究院 医用生体理工学分野 博士前期課程卒業、4月恵佑会札幌病院入職。15年4月、医学物理士資格認定、恵佑会札幌病院医学物理士就任。

要な業務です。QA/QCは照射事故防止の観点から必要不可欠な業務であり、IMRTも含めて治療装置から正確な放射線量が出力されているかなどを日々管理しています。放射線治療の中でもIMRTは特に複雑な動きをするので、誤差が生じないように患者さんごとに測定および検証解析を行っています。

仕事で心がけていることは？

小林 従来の方法や考え方にとらわれず、業務内容を改善していくことです。医学物理分野は新しい知識・技術などのアップデートがとても早いので、研究活動、英語論文、ガイドラインなどを通じて知識や技術を得る機会を増やし、臨床現場にフィードバックしています。医学物理士は患者さんと接する機会が少ないので、新しい情報や知識の面で貢献できればと思っています。

印象深い出来事がありますか？

小林 全国学会の研究課題グループが昨年IMRT計画のコンテストを開催しています。1人の患者さんを対象に参加者がプランを提出し、評価を受けます。3度連続で上位に入賞(計画装置別1位)することができました。入賞により学会のシンポジウムや講演会に呼んでいただく機会も増え、全国の優秀な方々から得た知識・技術を臨床に活かしながら仕事できています。

今後取り組んでいきたいことは？

小林 臨床の仕事や研究・講演活動を通じてさらに幅広い知識や技術を身につけていきたいです。自分の能力を向上させることが、最終的に患者さんに還元できると考えています。

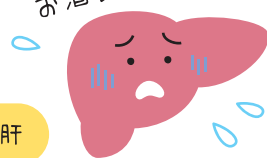




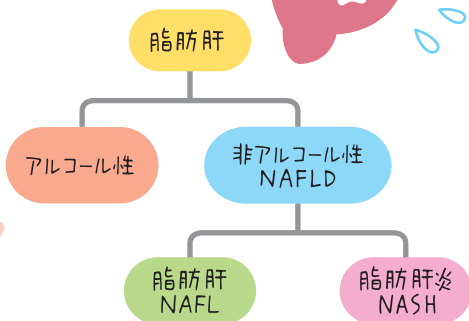
肝臓の病気

どんな病気がある？検査方法は？

お酒飲んでもいのに...



アルコール摂取量が
少なくとも脂肪肝、
肝炎になることが
あります。



Q 肝臓の働きは？

A 肝臓は人体の化学工場とも言われ、その主な働きには①代謝、②解毒作用、③胆汁の生成・分泌の3つがあります。

①代謝 肝臓は胃や腸で分解・吸収された栄養素を、利用しやすい形にして貯蔵します。必要に応じてそれらを分解してエネルギーに換えます。必要以上にエネルギーを摂取すると、肝臓に脂肪が蓄積し脂肪肝になります。

②解毒作用 肝臓は摂取した物質(アルコールや薬など)や代謝の際に生じた有害な物質を、胆汁や尿中に排泄するという解毒作用を持っています。

③胆汁の生成・分泌 胆汁は肝臓の中で常に作られていて、脂肪の乳化とタンパク質の分解をやすくする働きがあります。またコレステロールの体外への排出にも必要です。

Q 肝臓にはどんな病気がある？

A 主な肝臓の病気はウイルス肝炎(A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、E型肝炎)、アルコール性肝障害、薬剤性肝障害、自己性免疫肝疾患、脂肪肝などがあります。病気の経過により急性と慢性に分けられ、慢性の病気は慢性肝炎から肝硬変に進行していき、肝硬変からは肝臓がんが発症しやすくなります。

Q 肝臓の検査方法は？

A 肝臓の調子(肝機能)は簡単な血液の検査で行うことができます。肝機能に異常がある場合は、その原因を調べる検査を行うことになります。追加の血液検査やエコー、CTなどの肝臓の形態を調べる検査や、胃カメラを行う場合があります。

Q NASHとはどんな病気？

A 脂肪肝は大きくアルコール性と非アルコール性に分けられますが、非アルコール性で進行した状態の脂肪肝をNASH(ナッシュ)と診断します。NASHは肥満者に多く発症し、糖尿病、高血圧、高脂血症を合併することが多く、生活習慣病と考えられています。最近著しく増加している病気で、肝硬変に進展し肝臓がんを発症することもあり注意が必要です。

Q 肝臓は沈黙の臓器？

A 肝臓は予備能力が充分にあり、確かに症状が出にくい臓器ですが、決して何も症状がない訳ではありません。疲れやすい、食欲が低下した、身体が痒い、尿の色が濃いなどの症状がある場合は、簡単な血液の検査で肝臓の調子が確認できますので、ぜひ消化器内科を受診してください。

回 答 者



狩野 吉康 (かりの よしやす) 医師
恵佑会札幌病院 顧問

きなこたっぷり
クリームどら焼き
～おうち時間を楽しむ
お菓子作り～



恵佑会札幌病院栄養科

きなこは手軽に使える万能食材！

きなこや豆乳などの大豆製品はたんぱく質や脂質、ビタミンB群やビタミンE、その他強い抗酸化作用で脂質の酸化を抑えるサポニンなどを含みます。

きなこは便通を整える食物繊維も含む栄養たっぷりの食材で、料理や飲み物、ヨーグルトなどに手軽に使用することができます。

豆乳は鉄分、牛乳はカルシウムが豊富で、豆乳を牛乳に替えても美味しく作ることができます。寒い季節に、温かいお茶などと一緒にお召し上がりしてみてください。

材料 (6個分、1個当たり約314kcal)

ホットケーキミックス…150g	油…少量	
きなこ…大さじ5(皮用)	生クリーム…80ml	
④	卵…1個	砂糖…小さじ2
	はちみつ…大さじ1	きなこ…大さじ1(クリーム用)
	砂糖…大さじ3	つぶあん…20g
	豆乳…150ml(牛乳でも可)	お好みで栗や果物など

つくり方

- ① ④をボールに入れて混ぜる。
- ② ①にホットケーキミックス、きなこを入れてダマがなくなるまで混ぜる。
- ③ フライパンを熱して油を薄く塗り、②を直径8cm程度の大きさに流し入れ、弱火で2～3分焼く。
- ④ 生地的气泡が出たらひっくり返し、焼き色がついたら取り出す。
- ⑤ ボールに生クリームと砂糖を入れ、泡立て器でホイップクリームを作り、きなこを入れてさっくり混ぜる。
- ⑥ 粗熱の取れた皮に⑤のクリーム、つぶあん、その他お好みで栗や果物を挟み、完成。

恵佑会札幌病院

〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号
電話：011-863-2101 / FAX：011-864-1032
<https://www.keiyukaisapporo.or.jp/>
診療科目／外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、呼吸器腫瘍内科、
気管食道外科、消化器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、
耳鼻咽喉科、頭頸部外科、アレルギー科、泌尿器科、
循環器内科、形成外科、放射線診断科、放射線治療科、
麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科

恵佑会第2病院

〒003-0027 札幌市白石区本通13丁目北7番1号
電話：011-863-2111 / FAX：011-863-2261
<https://www.keiyukai2.jp/>
診療科目／内科、消化器内科、放射線診断科

恵佑会歯科口腔外科クリニック

〒060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目5番1号 大手町ビル6F
電話：011-788-8261 / FAX：011-788-8262
<http://kuosclinic.web.fc2.com/clinic/>
診療科目／歯科、歯科口腔外科

恵佑会矯正歯科クリニック

〒060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目14番地 繁田園ビル5F
電話：011-280-2111 / FAX：011-280-2225
<https://www.or-shinoda.com>
診療科目／矯正歯科

その他の事業所：訪問看護ステーション恵佑会
指定居宅介護支援事業所恵佑会